取扱い暗号資産の概要説明書

暗号資産説明書											
	2022年8月30日	2022年8月30日	2022年8月30日	2022年8月30日	2022年8月30日	2022年8月31日	2022年8月31日	2022年8月31日	2022年8月31日	2022年8月31日	2022年8月31日
一般的事項	ビットコイン	ビットコインキャッシュ	ライトコイン	ファーストクアム	イーサリアム クラシック	エックスアンドエー（ハッピフル）	リスク	ステーラー	ハイポーエスケー	ハッピンコイン	ベーシック アテンション トークン
	Bitcoin	Bitcoin Cash	Litecoin	Ethereum	Ethereum Classic	XRP（Ripple）	Lisk	Stellar	XEM	Happycoin	Basic Attention Tokens
	BTC	BCH	LTC	ETH	ETC	XRP	LSK	XLM	XEM	HPC	BAT
	2009年1月3日	2017年8月1日	2011年10月	2015年7月30日	2016年7月20日	2012年8月（Ripple Consensus Ledgerの開始日）	2016年4月2日	2014年8月5日	2015年3月29日	2017年10月	2017年5月31日
	227,526,616,375	12,212,701,894	17,661,272,241	118,169,611,855	13,117,441,137	101,137,889,226	8,114,247,152	16,115,210,591	2,127,242,643	3,147,268,643	1,945,331,388
	4,124,518,713,125	19,916,313,146,470	19,112,254,637,136	119,129,261,399,514	1,921,131,389,550	14,247,121,589,272	128,175,616,170	187,221,149,875	197,829,781,317	71,228,186,212,171	47,713,147,512,110
	主な利用目的	投機、決済、預金	投機、決済、預金	投機、決済、預金	投機、決済、ステーブルコイン	送金（送金）、決済、預金	投機、取扱事業者への預金、取扱事業者への預金	投機、決済、預金	投機、決済、預金、ステーブルコイン	投機、決済、預金等	投機、決済、預金等
	法令等違反の有無	—	—	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	現在流通の有無	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	現在流通の有無	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	流通等の未来時期の有無	—	—	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	将来発行等を行う者の属性	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	将来発行の内容	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一般的事項	一般的な特徴	分散型の暗号資産・暗号資産の基盤データ管理のための、暗号技術及び分散型暗号技術を用いた暗号資産の一形態・利用して発行される暗号資産	分散型の暗号資産・暗号資産の基盤データ管理のための、暗号技術及び分散型暗号技術を用いた暗号資産の一形態・利用して発行される暗号資産	分散型の暗号資産・暗号資産の基盤データ管理のための、暗号技術及び分散型暗号技術を用いた暗号資産の一形態・利用して発行される暗号資産	分散型の暗号資産・暗号資産の基盤データ管理のための、暗号技術及び分散型暗号技術を用いた暗号資産の一形態・利用して発行される暗号資産 ・分散型プロトコルの実行を支援する暗号資産	分散型の暗号資産・暗号資産の基盤データ管理のための、暗号技術及び分散型暗号技術を用いた暗号資産の一形態・利用して発行される暗号資産 ・XRPは金融機関の送金において決定通貨のブリッジ通貨としてオンデマンド流動性を提供する目的を有している。これによって金融機関は資本よりも流動性流動性コストを少ددくする目的で、XRPを利用することが可能となっている。 ・XRPはRipple Consensus Ledgerの下で運営されており、ノードの運営者としての責任を負っている。ネットワークの合意形成によって合意に達成された取引は、数秒の間に迅速に確定される。また、ネットワークの合意形成によって合意に達成された取引は、改竄が困難であるとされている。改竄が困難であるとされている理由としては、XRPLは、XRPLコンセンサスサーバーの過半数が合意形成に参加しなければならないことから、改竄が困難であるとされている。 ・XRPはRipple Consensus Ledgerの下で運営されており、ノードの運営者としての責任を負っている。ネットワークの合意形成によって合意に達成された取引は、数秒の間に迅速に確定される。また、ネットワークの合意形成によって合意に達成された取引は、改竄が困難であるとされている。 ・分散型プロトコルの実行を支援する暗号資産	分散型の暗号資産・暗号資産の基盤データ管理のための、暗号技術及び分散型暗号技術を用いた暗号資産の一形態・利用して発行される

取扱い暗号資産の概要説明書

暗号資産概要説明書										
	2022年8月30日	2022年8月30日	2022年8月30日	2022年8月30日	2022年8月30日	2022年8月30日	2022年8月30日	2022年8月30日	2022年8月30日	2022年8月30日
一 暗号資産の概要	日本語の名称	ビットコイン	ライトコイン(ライトコイン)	イーサリアム	リップル	ネクスト(ネクスト)	ダイ(ダイ)	カルダノ(ADA)	ポルカドット(ポルカドット)	ドージコイン
	英語の名称	Bitcoin	Litecoin	Ethereum	Ripple	NEXT	Dai	Cardano(ADA)	Polkadot(DOT)	Dogecoin
	特徴（仮想通貨発行者に関係深い事柄）	ナカモト	チャールズ・リー	ヴィタリック・ブテリン	ブラッド・ガーリンハウス	ジェームス・ヘイワード	ルーク・ドーマン	チャールズ・ホスキンソン	ギャビン・ウッド	ビリー・マーカス、ジャクソン・パルマー
	ホームページ（コンセプト）	https://bitcoin.org/ja	https://litecoin.com/ja	https://ethereum.org/ja	https://ripple.com/ja-jp/	https://jp.nxt.org/	https://makerdao.com/jp/	https://cardano.org/ja/	https://polkadot.network/ja/	https://dogecoin.com/ja/
	発行数（上限・総量の定義を含む。固定発行量の場合は、その数量）	21万	8400万	上限なし	1兆	1億	上限なし	45億	上限なし	上限なし
	発行時期（ブロックチェーンの稼働日を含む。）	2009年1月3日	2011年10月7日	2015年7月30日	2012年9月2日	2015年8月26日	2017年12月18日	2017年9月29日	2020年5月26日	2013年12月6日
	時価総額（メガ単位、例：1,000,000）	$1,165,962,952	$122,338,088	$198,777,246,65 （2022年8月27日時点）	$4,658,985,623	$1,018,192,615	$25,186,207,376	$90,896,972	$7,992,518,188	$633,795,236
	時価総額（円換算、例：¥100,000,000）	¥159,512,215,573	¥16,526,273,607	¥27,203,000,000,000 （2022年8月27日時点）	¥635,204,991,203	¥139,214,964,364	¥3,435,216,729,730	¥12,397,243,932	¥1,090,242,206,295	¥86,382,237,296
	どなたが利用者	個人、法人、投資、スマートコントラクト	個人、法人、投資	個人(ETHをお使いの方は、ETHのガスコストが高騰傾向で安価ではないため、ETHのガスコストが安価なNEXTを使用されることが多いと思います。また、ユーザーがETHをNEXTに変換することで、ETHのガスコストを節約することも可能です。) 法人(ETHをお使いの方は、ETHのガスコストが高騰傾向で安価ではないため、ETHのガスコストが安価なNEXTを使用されることが多いと思います。) 投資(ETHを使うことで、ETHのガスコストを節約することも可能です。) スマートコントラクト(ETHのガスコストが高騰傾向で安価ではないため、ETHのガスコストが安価なNEXTを使用されることが多いと思います。)	個人、中小企業向け個人、投資、決済、投資	個人、中小企業向け個人、投資、決済、投資	個人、中小企業向け個人、投資、決済、投資	個人、決済、投資等	スキャッチ、ポイントシステム会社、ボンディング用途 https://wiki.polkadot.network/docs/learn-DOT#what-are-the-uses-of-dot	個人、法人、投資、決済、投資	個人、法人、投資、投資等
	分散型台帳技術（ブロックチェーン）の有無	ない	ない	ない	ない	ない	ない	ない	ない	ない
	誰でも参加の有無	ある	ある	ある	ある	ある	ある	ある	ある	ある
	誰でも閲覧の有無	ある	ある	ある	ある	ある	ある	ある	ある	ある
	改竄等の耐性の有無	ない	ない	ない	ない	ない	ない	ない	ない	ない
	不特定多数を当事者とする暗号化技術の活用の有無	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	利用者管理の内容	—	—	—	管理者である「Ripple Development Foundation（リップル開発財団）」、以後略して称する「Ripple」は当初から50億XRPを所持中で	—	—	—	—	—
	一般的な用途	分散型の価値保存・価値移転の実現手段の提供のため、暗号技術及び分散型台帳技術を用いた取引の検証に必要な計算能力を対価として提供する行為（マイニング）を通じて、ビットコインを発行する。 分散型プラットフォームの維持する取引情報の保護を第三者に委ねる。	Bitcoinに対抗するために設定された暗号資産であり、暗号技術及び分散型台帳技術を用いた取引の検証に必要な計算能力を対価として提供する行為（マイニング）を通じて、ビットコインを発行する。 また、Proof of Stake Version 3の採用により、プルーフ・オブ・ステイクを用いて取引を行う。 Ethereumの内容を用いたスケーラビリティ対策（例：Plasma）、Ethereumの内容を用いたプライバシー対策（例：zk-SNARKs）を実施する。	分散型の価値保存・価値移転の実現手段の提供のため、暗号技術及び分散型台帳技術を用いた取引の検証に必要な計算能力を対価として提供する行為（マイニング）を通じて、ビットコインを発行する。 ハッシュ関数にBlake2bを採用することにより、ASICによる不公平な取引の発生を防ぐ。 ハッシュ計算の難易度を調整することにより、ブロックの生成速度が一定の間隔で保たれるようにする。	分散型の価値保存・価値移転の実現手段の提供のため、暗号技術及び分散型台帳技術を用いた取引の検証に必要な計算能力を対価として提供する行為（マイニング）を通じて、イーサリアムを発行する。 ハッシュ計算の難易度を調整することにより、ブロックの生成速度が一定の間隔で保たれるようにする。	一般人、中小企業、中小金融機関の間で通貨間に発生を伴わず取引をプラットフォームを利用する為の暗号資産	分散型の価値保存・価値移転の実現手段の提供のため、暗号技術及び分散型台帳技術を用いた取引の検証に必要な計算能力を対価として提供する行為（マイニング）を通じて、ビットコインを発行する。 ・分散型プラットフォームの維持する取引情報の保護を第三者に委ねる。	分散型の価値保存・価値移転の実現手段の提供のため、暗号技術及び分散型台帳技術を用いた取引の検証に必要な計算能力を対価として提供する行為（マイニング）を通じて、ビットコインを発行する。 ・分散型プラットフォームの維持する取引情報の保護を第三者に委ねる。	「分散型の価値保存・価値移転の実現手段の提供のため、暗号技術及び分散型台帳技術を用いた取引の検証に必要な計算能力を対価として提供する行為（マイニング）を通じて、ビットコインを発行する。 ・分散型プラットフォームの維持する取引情報の保護を第三者に委ねる。	現在のブロックチェーンを用いプルトコイン	「分散型の価値保存・価値移転の実現手段の提供のため、暗号技術及び分散型台帳技術を用いた取引の検証に必要な計算能力を対価として提供する行為（マイニング）を通じて、ドージコインを発行する。 ・分散型プラットフォームの維持する取引情報の保護を第三者に委ねる。
	発行形態（発金方法及び金額を含む。）	第1号	第1号	第1号	第1号	第1号	第1号	第1号	第1号	第1号
	1年以内に（発行日から起算）公表予定の主な内容	なし	なし	なし	なし	なし	—	—	—	—
	3年以内に行う主な開発（主な開発内容）の有無及び内容	なし	なし	なし	なし	なし	—	—	なし	—
	発行者に対する規制（法令等規定）の有無及び内容	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	発行者による第三者（第三者）による利用状況	なし	なし	—	—	—	なし	なし	なし	なし
	発行者が保有者に対してなすべき行為の有無	なし	なし	—	—	—	なし	なし	なし（ただし、保有しているカストーカーズ(ADA保有団体)）	なし
	発行者に対して保有者が行う義務	なし	なし	—	—	—	なし	なし	なし	なし
	価値の安定	非常管理の法的管理による	非常管理の法的管理による。	非常管理の法的管理による。	非常管理の法的管理による	非常管理の法的管理による	非常管理による	非常管理の法的管理による	非常管理の法的管理による	非常管理の法的管理による
	分散（非常）の有無	ない	ない	—	—	—	ない	ない	ない	ない
	開発者名、非常管理者名（非常管理者情報開示の有無）	パブリック型ブロックチェーン	パブリック型ブロックチェーン	パブリック型ブロックチェーン	パブリック型ブロックチェーン	パブリック型ブロックチェーン	パブリック型ブロックチェーン	パブリック型ブロックチェーン	パブリック型ブロックチェーン	パブリック型ブロックチェーン
	発行・管理記録の取扱い（記録の方法）	記録	記録	記録	記録	記録	記録	記録	記録	記録
	発行・管理記録の取扱い（記録の内容）	ハッシュ関数（SHA-256、RIPEMD-160）、暗号鍵を記録簿等の場所を記録簿等に、データを記録。	記録簿等の場所を記録簿等に、データを記録	PoS（ethPoS）は、Ethereumブロックチェーンにお記録される32BYte2ストーク方法を用、情報記録の場所をEthereumの記録簿に保存する。Ethereumの場合、情報の記録はパブリックブロックチェーンを利用している。なお、情報記録はカストーカーズ(ADA)ストーク方法を用いて行っている。なお、情報記録はカストーカーズ(ADA)ストーク方法を用いて行っている。	ASA方式を用、情報の記録はパブリックブロックチェーンを利用している。なお、情報記録はカストーカーズ(ADA)ストーク方法を用いて行っている。なお、情報記録はカストーカーズ(ADA)ストーク方法を用いて行っている。	アドレスを生成するPoCプロトコルは、SeBDA（エリプティック曲線ポリネス暗号をプルプロトコルと呼称されている。）を用いて行っている。	記録簿等の場所を記録簿等に、データを記録	記録簿等の場所を記録簿等に、データを記録	記録簿等の場所を記録簿等に、データを記録	記録簿等の場所を記録簿等に、データを記録
	利用者の識別（認証）の方法	秘密鍵と記録簿等に保存した場所を用いて、利用者本人が記録した情報データを特定し、記録する。	ECDSA(secp256k1曲線)を用いて秘密鍵と記録簿等を用い、利用者本人が記録した情報データを特定し、記録する	利用者の認証は、PoS（ethPoS）(Ethereum)の認証に秘密鍵と記録簿等を用いて、利用者本人が記録した情報データを特定し、記録する。 Ethereumの場合、情報の記録はパブリックブロックチェーンを利用している。なお、情報記録はカストーカーズ(ADA)ストーク方法を用いて行っている。なお、情報記録はカストーカーズ(ADA)ストーク方法を用いて行っている。 https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%9B%9E%E7%B7%9A%E6%9B%B2%E7%B7%9A%E3%83%BB%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%AB%E3%83%BB%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%AB%E3%83%BB%E3%83%87%E3%83%BC%E3%82%BF%E3%83%BB%E3%83%95%E3%82%A9%E3%83%BC%E3%83%9F%E3%83%A5